

テクノロジストたちの「いま」を伝える
ものづくり大学通信

種子島ロケットコンテスト2026

ロケット部門で 優勝 & 準優勝!

種子島ロケットコンテスト2026が、2026年3月5日～9日にかけて、JAXA種子島宇宙センターで開催されました。宇宙開発研究プロジェクトから出場したチーム「Eを外すな!」がロケット部門「ペイロード有翼滞空種目」において優勝。さらに、チーム「Air Rocket 04」も同種目で準優勝という成績を収めるとともに、ベストプレゼン賞 (IHエアロスペース賞) も受賞しました。



▲宇宙開発プロジェクトの皆さん

ウェブマガジン「monogram」でインタビュー公開中!

ウェブマガジン「monogram」では当時、1年生だった学生が種子島ロケットコンテスト2023で優勝した機体を製作した際のインタビューを掲載しています。宇宙開発研究プロジェクトの活動を詳しく知りたい方は、二次元コードからご覧ください。



《《 はこちら
check!

技能五輪国際大会に向け、トレーニングを実施!

2026年9月に中国・上海で開催される第48回技能五輪国際大会のコンクリート躯体工事職種に出場する石田悠稀さん(建設学科4年、群馬・明和県央高校出身)、飯田瑠輝さん(建設学科4年、栃木・栃木工業高校出身)が、オーストリア・アムシュテッテンのDoka社トレーニングセンターにて、競技で使用するDoka社の型枠システムトレーニングを行ってきました。今後も、9月の技能五輪国際大会まで2人は学内で練習に励んでいきます!



▲左から3番目が石田さん、5番目が飯田さん



▲トレーニングの様子

2027年度 入試 Topics

特定の資格・学力で
必ず授業料が減免! 該当者全員・
人数制限なし

総合型特別選抜

▶「ものづくり特待」Ⅰ期～Ⅲ期

ジュニアマイスター・アグリマイスター資格取得で授業料免除額を保障!

▶「資格重視特待」Ⅰ期～Ⅲ期

保有している資格や実績・部活動の成績など、資格取得や実績で授業料免除額を保障!

一般選抜

▶「総合学力特待」

数学・外国語・国語の3科目で審査。筆記試験の得点に応じて免除額を決定!

▶「数学特待」

数学のみの1科目!! 筆記試験の得点に応じて免除額を決定!

まもなく出願開始の入試!

総合型選抜

「体験授業型」「探究型」Ⅰ期(専願)

出願前エントリー: 9/1(火)～11日(金)

試験日: A日程9/19(土)、B日程9/20(日)

「体験授業型」「探究型」Ⅱ期

出願前エントリー: 9/14(月)～25日(金)

試験日: A日程10/3(土)、B日程10/4(日)

オンライン面接: 10/12(月・祝)

- 本学入試で一番早い入試
- 進路が早く決まる
- 出願前エントリーは無料!

特別選抜

外国人留学生入試(推薦/一般)A日程

出願期間: 9/1(火)～10(木)

試験日: 9/19(土)

- 試験日程が豊富
- B日程は地方会場で受験可

OPEN CAMPUS

オープン
キャンパス
開催!



開催時間 10:00～14:40 (受付開始 9:30)

イベント
もたくさん
お出迎え!

予約
サイト



8/30(日) 10/17(土) 12/20(日) 12/22(火)

進学相談会

留学生限定

ワークショップ型

留学生限定



キャンパスツアー
特長な施設を
覗いてみよう!



ワークショップ
実際に大学の授業を
体験してみよう!



面接試験対策講座
面接のある入試を
控えている受験生必見!



なんでも相談
学生生活、入試対策等、
なんでも相談してみよう!

嬉しい
プレゼントも
あるよ～!



在学生フリートーク
在学生と色々な話を
してみよう!

このほか、受験生を対象とした「大学個別見学会」を随時受け付けています。詳細はホームページをご確認ください。

学校法人 ものづくり大学 未来応援募金を 受付中



本学が「社会に貢献する教育研究拠点」として時代の要請に応える人材を育成し続けるため、学校法人ものづくり大学未来応援募金を開設しました。奨学金制度の拡充、施設・設備の充実、教育・研究の推進を用途としています。皆様からの温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金の詳細は
こちら



ウェブマガジン「monogram」

続々記事公開中!

今すぐ
アクセス!



PICK
UP

WebサイトやSNSでは伝えきれない、本学の教育研究や学生の活動など全ての魅力をウェブマガジンでお届けしています。ぜひ、ご一読ください!



オープンキャンパスで知った
圧倒的な自由



公式サイト

大学HP



バック
ナンバー



公式SNS

LINE



第26回卒業設計コンクール展に上位入賞！



JIA埼玉
最優秀賞

▲篠原菜々美さん(今井研究室、東京・京華女子高校出身)
「音に触れる建築－感情を揺らす空間の創出－」



JIA埼玉
優秀賞

▲清田幹朗さん(岡田研究室、富山・入善高校出身)
「『と在る』ことについて 失われた光のための家」



JIA埼玉
優秀賞

▲小山佳祐さん(今井研究室、埼玉・川越工業高校出身)
「暮らしに花を～mooiを起点に描く、地域密着型店舗の空間デザイン～」

「新しい書道」の展示に学生プロジェクトが協力

2026年3月29日に行田市の水城公園を会場として開催された「第3回百花繚乱～いろどり春フェスタ・夜フェスタ」において、学生プロジェクト「ものづくりデザイナーズプロジェクト(MDP)」、「もの大カンパニープロジェクト(MCP)」の有志が、彩irodori 書家 美蓮様の展示制作に協力しました。テーマは「新しい書道×Tシャツに書く書道」。学生は竹を切り出し、加工を施した特製オブジェを製作しました。



▲展示に協力した学生の皆さん



▲展示された作品

新入生歓迎BBQ交流会を開催

毎年恒例となっている同窓会主催の新入生歓迎BBQ交流会が、今年も2026年4月17日に開催されました。今年度から就任した佐藤勲学長から、新入生へ歓迎の言葉が贈られました。学生の皆さんはBBQコンロを囲みながら、学年・学科の枠を超えて交流を深めていました。



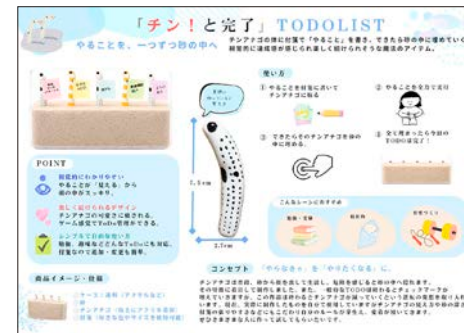
ミャンマーの留学生と日本人学生が交流



ミャンマーの留学生と日本人学生が学生寮の和室で、ミャンマーの旧正月に開催される水かけ祭りに欠かせない伝統的なお菓子「モロンヤエポー」を一緒に作りながら、交流を深めました。

第4回ものづくり大学 高校生デザインコンテスト結果発表

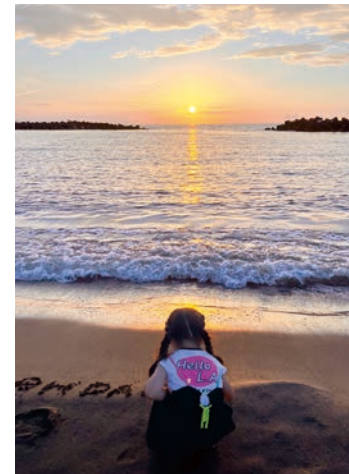
本コンテストは、高校生が「面白い、楽しい、誰かに紹介したい」と感じたアイデアなどを募集しています。コンテストのテーマは「カワイイ×モノづくり」。全国の高校生から144作品の応募があり、「アイデア」「ものづくり」「フォト」の3部門から最優秀賞、優秀賞、佳作を決定しました。



コンテストの
結果発表は
こちら！



▲アイデア部門最優秀賞
「チン!と完了」



▲フォト部門優秀賞「海」



▲ものづくり部門優秀賞「祭礼山車屋台模型」



学生が講師に「おもしろものづくり教室」開催

2026年3月7日、行田市内の小学生を対象にした「おもしろものづくり教室」を開催しました。学生プロジェクトに所属している学生や技能五輪全国大会に出場した学生が講師となり、再生プラスチックやUVレジンを使ったアクセサリ、铸造でつくるコースター、木製の卓上ラック、タイルコースターづくりに挑戦しました。



▲卓上ラックを作った皆さん



▲铸造でコースター作り

本学で皆野町公民館講座を開催

2026年3月7日、連携協定を締結している皆野町の公民館講座を本学で開催しました。建設学科の間藤早太教授が講師になり、参加した小学生の皆さんにアイスの棒を使った「強い橋」づくりに挑戦してもらい、作った橋にペットボトルの重りを吊るし、どんな形が強くなるのか体験しました。



▲講義の様子



▲重りを吊るして実験中

佐藤 勲 第6代学長就任

2026年4月1日より、佐藤勲先生が学長に就任しました。
佐藤新学長は、東京工業大学理事・副学長、東京科学大学特命教授、
理事長・学長特別補佐を経て、ものづくり大学長に就任しました。
就任にあたり、佐藤学長の抱負を紹介します。



ものづくり大学とのつながりと夢

私が以前に在籍していた東京工業大学は東京職工学校として1881年に設立され、その目的とするところは本学と極めて近い関係にあります。私自身も、熱工学を背景とした生産工学を専攻分野としてきたことから、本学とは浅からぬ縁を感じていました。しかし学長をお引き受けする決断をした理由はそれだけではありません。東工大にいたときから、日本の持続的発展に一抹の不安を感じていたことが一番の理由です。

ここ数10年来、特に日本では新たな価値創造を目指す若い人材が減っている印象を持っていました。実学重視の教育を行う本学と類似点の多い学部は医学部があります。高度な技能者でもある医師を目指す学生は毎年一定数存在するのに、ものづくりを目指す学生が減少するのは何故か？ それはひとえに社会からの認知と評価の違いだと思います。ものづくりの分野での高度技能者が高く評価される社会を実現したい。これが私の夢でもあります。

学長として行いたいこと

これまでも本学は、実務的な人材育成や研究成果などで高い評価を得てきました。しかし開学から25年を経て社会の望む「テクノロジスト」像も変わりつつあります。これに応えるために本学が為すべきことを考え実行すべき時節到来とも言えます。何を行うかは種々アイデアがあるかと思いますが、何をするにしても着実に成果を上げるために行いたいことが2つあります。

1つ目は対話の重視です。多様な人々が集うのが大学なので個々の考えていることは異なっていて当然ですが、対話を通して目的意識を揃えないと、小規模な組織では総体としての力が削がれます。数学的に言えば、個々の目的意識の「ベクトル和」を最大にすることが第1段階です。その上で、個々の取組の目的・役割の組み合わせを最適化するのが2つ目です。例えば教員と事務職員は役割が異なります。役割の違いを認識しつつそれぞれで目的意識を揃え、それらを最適に組み合わせることではじめてシナジーが生まれる、ベクトルで言えば「ベクトル積」を最大にすることができます。

こうして生まれる本学のアウトカムを社会に問い評価をいただいで改善するという取組の「オーケストレーション」を行うのが私の務めだと考えています。教職員、学生、同窓生、ご関連の行政・団体等の皆さまのお力をお貸しいただければ幸いです。

日本経済新聞の学長インタビューはこちら



ものづくり大学 学長
佐藤 勲 Isao Sato

PROFILE

1958年生まれ 工学博士

1981年東京工業大学工学部機械工学科卒業、1984年東京工業大学大学院理工学研究科生産機械工学専攻博士課程修了。その後、同大学工学部助手、助教授を経て、2000年同大学大学院理工学研究科教授に着任。同大学の理事・副学長、グローバルリーダー教育院長、炭素循環エネルギー研究センター長、博物館長、東京科学大学特命教授、理事長・学長特別補佐を歴任し、2026年4月より、ものづくり大学学長に就任。

ラーニングイノベーションングランプリ2026で 最優秀ラーニングイノベーション賞、特別賞を受賞！



本学と北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)による共同プロジェクト「『エンジニアの感覚知識』を距離を超えて伝承:E-learning by Doing」が、ラーニングイノベーションングランプリ2026において、最優秀ラーニングイノベーション賞および特別賞を受賞しました。研究開発の中心となった荒川龍聖さんは情報メカトロニクス学科三井研究室の出身で、現在はJAISTに在籍しており、JAISTの長谷川研究室と本学の武雄研究室が共同研究を開始し、その成果が今回の受賞につながりました。



▲左:武雄靖教授、右:荒川龍聖さん

埼玉大学と包括連携協定を締結



▲左:埼玉大学 重原学長、右:佐藤学長



▲締結式の様子

2026年6月22日、埼玉大学と包括連携協定を締結しました。本協定は、両大学の人的・知的・物的資源を相互に活用し、社会人・学生双方を対象とした学びの機会の拡充、地域産業・地域社会へのさらなる貢献、国立大学と専門性の高い本学の特性を生かした大学間連携を推進することを目的としています。

「日本民俗学」に卒業生の 卒業報告要旨が掲載

建設学科卒業生の小島都和さん(2025年度卒業、土居研究室)の卒業報告要旨「VTuberのベースギター演奏は、なぜおかしく見えたのか?—技能の表象をめぐる考察—」が、一般社団法人日本民俗学会の機関紙「日本民俗学 第326号」に掲載されました。この研究内容は、ウェブマガジン「monogram」に掲載されています。



詳しい
研究内容は
ウェブマガジン
monogram
でチェック!



1年生を対象とした プロフェッショナルゼミを実施

建設学科1年生のFゼミにおいて、外部講師による特別講義が開催されました。奥山龍一客員教授のコーディネートのもと、「大人になるってどんなこと?」を主題とし、学生が自己の未来や社会との関わり方を見つめ直す機会となりました。登壇者には、群馬県前橋市に本社を構える株式会社エスティビーの代表取締役 杉崎由里氏をお招きしました。



詳しい
ゼミ内容は
ウェブマガジン
monogram
でチェック!



前田建設工業株式会社の協力会社から科目等履修生を受け入れ

前田建設工業株式会社と本学の連携により、2026年度から「前友会」(前田建設工業株式会社の協力会社のうち主要な603社で構成する組織)の人材育成として、科目等履修生の受入れを開始します。受入れに先立ち、2026年5月26日、「前友会」向けの見学会を開催し、前田建設工業株式会社をはじめ全国各地から14社23名が参加しました。見学の後のディスカッションでは、参加企業のニーズに応じたリスクリング教育プログラムへの要望など、活発な意見交換が行われました。

見学会の様子▶



戸田市教育委員会と連携協力協定を締結

2026年5月22日、戸田市教育委員会と連携協力協定を締結しました。本協定により、戸田市教育委員会が推進する「戸田型PBL」を中心とした探究的な学びに連携・協力することで、本学が有するものづくり教育の知見や実践的な教育資源を地域へ還元するとともに、地域社会と連動した実践的な教育・研究活動を推進します。

左：佐藤学長、右：戸田市教育委員会 戸ヶ崎教育長▶



新たに2校と教育連携協定を締結

学校法人群馬常盤学園常盤高等学校ならびに埼玉県いずみ高等学校と教育連携に関する協定を締結しました。この協定は本学と各校が相互の密接な連携と協力により、ものづくりやマネジメント等への理解を深め、

高校生の職業観育成やキャリア形成を支援することにより、未来の人材育成に寄与することを目的としています。



▲左：佐藤学長、右：いずみ高等学校 竹前校長



▲左：常盤高等学校 塚越校長、右：佐藤学長

久米正理事が杉戸高等学校で講演

2026年4月10日、久米正理事(株式会社日立製作所執行役常務 モノづくり・品質保証責任者 兼 原子力ビジネスユニット技監)が、本学と教育連携協定を締結している埼玉県立杉戸高等学校の1年生を対象とした「リーダーシップ育成講座」にて講演しました。日立製作所での事例を交えながら、リーダーへの第一歩は日々の小さな積み重ねであると伝え、「世界を舞台に可能性を広げよう」とエールを送りました。



細合晋太郎准教授が上尾鷹の台高等学校で講演

2026年3月16日、情報メカトロニクス学科の細合晋太郎准教授が、本学と教育連携協定を締結している埼玉県立上尾鷹の台高等学校において、1、2年生約360人を対象に「ロボットを動かす力」をテーマに講演しました。高校生の皆さんはロボット操作体験を含め、熱心に受講していました。



松本研究室が「このとりSDGsフェスティバル」に出展

2026年3月21日、鴻巣市で開催された「このとりSDGsフェスティバル」に情報メカトロニクス学科の松本研究室が出展しました。3Dプリンターを利用した際に発生したプラスチックの端材を活用した制作体験を行いました。老若男女を問わず多くの方々に体験いただき、SDGsに関する理解を深めていただきました。



ふれあい橋の開通式を草加市で開催

2026年3月28日、草加市との木橋リノベーション事業第2弾として補修・修繕された「ふれあい橋」の開通式が、草加市内の青柳公園にて開催されました。式典では、今井弘建設学科長の挨拶のほか、補修に携わった建設学科の小林駿斗さん、栗原良太郎さん(2名とも2025年度卒業、大垣研究室)が補修内容の説明を行いました。



▲左から今井学科長、栗原さん、山川草加市長、小林さん、大垣教授

横山研究室が狭山市立博物館で講演

2026年6月28日、建設学科の横山晋一教授ならびに横山研究室に所属していた大学院修士の青山莉緒さん、荒畑光希さん(2名とも2025年度修了)が、狭山市立博物館にて「歴史を今に伝える伝統建築の魅力」をテーマに講演を行いました。横山教授が日本の伝統建築の変遷について講義し、青山さん、荒畑さんは自身が行った伝統建築の調査・復元について発表しました。



▲荒畑光希さん

▲青山莉緒さん

行田市との連携により橋梁補修の実証実験を実施

行田市との連携協定に基づき、国土交通省補助事業による研究プロジェクトの実証実験として、行田市が管理する橋梁「6-27 号橋」において橋梁補修工事を実施しました。老朽化が進む社会インフラの維持管理という地域課題を解決するとともに、学生が実際の橋梁工事に携わることで、現場で通用する実践的な技術力の習得を目的としています。

